

平成27年5月18日

（ 外 務 省
財 務 省
経 済 産 業 省 ）

イエメン共和国における平和等を脅かす活動に関与した者等に対する資産凍結等の
措置の対象者の追加について

我が国は、国際連合安全保障理事会決議第2140号に基づき、同理事会制裁委員会により指定されたイエメン共和国における平和等を脅かす活動に関与した者等に対して資産凍結等の措置を講じてきたが、今般、同理事会決議第2216号により制裁対象者として新たに2個人が追加指定されたことに伴い、これらに対する資産凍結等の措置を講ずることとする。

1. 措置の内容

外務省告示(5月19日公布)により、イエメン共和国における平和等を脅かす活動に関与した者等として指定される者に対し、外国為替及び外国貿易法に基づく次の措置を5月19日から実施する。

(1) 支払規制

外務省告示により指定される者に対する支払等を許可制とする。

(2) 資本取引規制

外務省告示により指定される者との間の資本取引(預金契約、信託契約及び金銭の貸付契約)等を許可制とする。

2. 対象者

別添リスト参照

連絡・問い合わせ先

外務省中東アフリカ局中東第二課

財務省国際局調査課外国為替室

経済産業省貿易経済協力局貿易管理部貿易管理課

TEL 03-5501-8000 内線 3361

TEL 03-3581-4111 内線 5289

TEL 03-3501-1511 内線 3241

(別添)

○次のとおり追加する。

4. アブドルマリク・アル・ホーシー

ABDULMALIK AL-HOUTHY

(肩 書) 不明

(生年月日) 不明

(出 生 地) 不明

(別 称) 不明

(国 籍) 不明

(旅券番号) 不明

(身分登録番号) 不明

(住 所) 不明

(リストへの掲載) 2015年4月14日

(その他の情報) イエメンのホーシー派集団指導者。イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与してきた。

(指定の根拠) アブドルマリク・アル・ホーシーは、安全保障理事会決議第2140号(2014年)の11及び15の規定並びに安全保障理事会決議第2216号(2015年)の14の規定に従い、2015年4月14日に制裁対象に指定された。

アブドルマリク・アル・ホーシーは、イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与してきた集団の指導者の一人である。

2014年9月、ホーシー派部隊がサヌアを奪取し、2015年1月、ホーシー派が支配する正統でない統治当局を通じて、イエメンの正統な政府を交代させようと一方的に試みた。アブドルマリク・アル・ホーシーは、兄フセイン・バドルッディーンの後2004年に、イエメンのホーシー派運動の指導的地位を担っている。ホーシー派の指導者として、アブドルマリク・アル・ホーシーは、自らの要求に応じない場合に更なる騒擾を引き起こすことでイエメン当局を繰り返し脅迫し、ハーディ大統領、首相、主要閣僚を拘留した。ハーディ大統領は、その後アデンに逃れた。ホーシー派は、サーレハ前大統領とその息子アフマド・アリー・サーレハに対して忠実な軍部隊の支援を得て、アデンに対する新たな攻勢に出た。

5. アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハ

AHMED ALI ABDULLAH SALEH

(肩 書) 不明

(生年月日) 不明

(出生地) 不明

(別称) 不明

(国籍) 不明

(旅券番号) 不明

(身分登録番号) 不明

(住所) 不明

(リストへの掲載) 2015年4月14日

(その他の情報) ホーシー派の軍事的拡大を促進する上で重要な役割を果たしている。イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与している。アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、イエメン共和国前大統領アリー・アブドゥラー・サーレハの子息である。(指定の根拠) アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、安全保障理事会決議第 2140 号 (2014 年) の 11 及び 15 の規定並びに安全保障理事会決議第 2216 号 (2015 年) の 14 の規定に従い、2015 年 4 月 14 日に制裁対象に指定された。アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与してきた。

アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、ハーディ大統領の権威を弱体化させ、ハーディ大統領による軍改革の試みを妨害し、イエメンにおける平和的な民主主義への移行を妨げるために活動してきた。アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、ホーシー派の軍事的拡大の促進において重要な役割を果たした。2013 年 2 月中旬、アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、共和国警備隊の旅団及び身元不明の部族長らに数千丁のライフルを配給した。これらの武器は 2010 年に調達され、後日政治的利益を得るために、武器の受領者からの支持を取り付ける目的で用意された。

アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハの父、イエメン共和国前大統領アリー・アブドゥラー・サーレハが 2011 年に大統領を辞任した後、アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、共和国警備隊司令官の地位に留まった。1 年と少し後、アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハは、ハーディ大統領により解任されたが、解任された後もイエメン軍内に大きな影響力を有していた。

アリー・アブドゥラー・サーレハは、2014 年 11 月に国連安全保障理事会決議第 2140 号の下で国連により指定された。